

北のハイキング



# 初夏の震生湖

# と渋沢丘陵

日時：令和5年6月27日(火) ※雨天中止

◇ 集合 午前9時(秦野駅改札前)

◇ 解散 午後3時(渋沢駅)

定員：20人

参加費：370円（傷害保険料を含む）

持ち物：昼食、飲み物、筆記用具

ガイド：秦野市観光ボランティアの会

コース：秦野駅⇒今泉名水桜公園⇒白笹稻荷⇒  
震生湖⇒渋沢丘陵⇒栃窪会館⇒喜きそう寺  
⇒渋沢駅

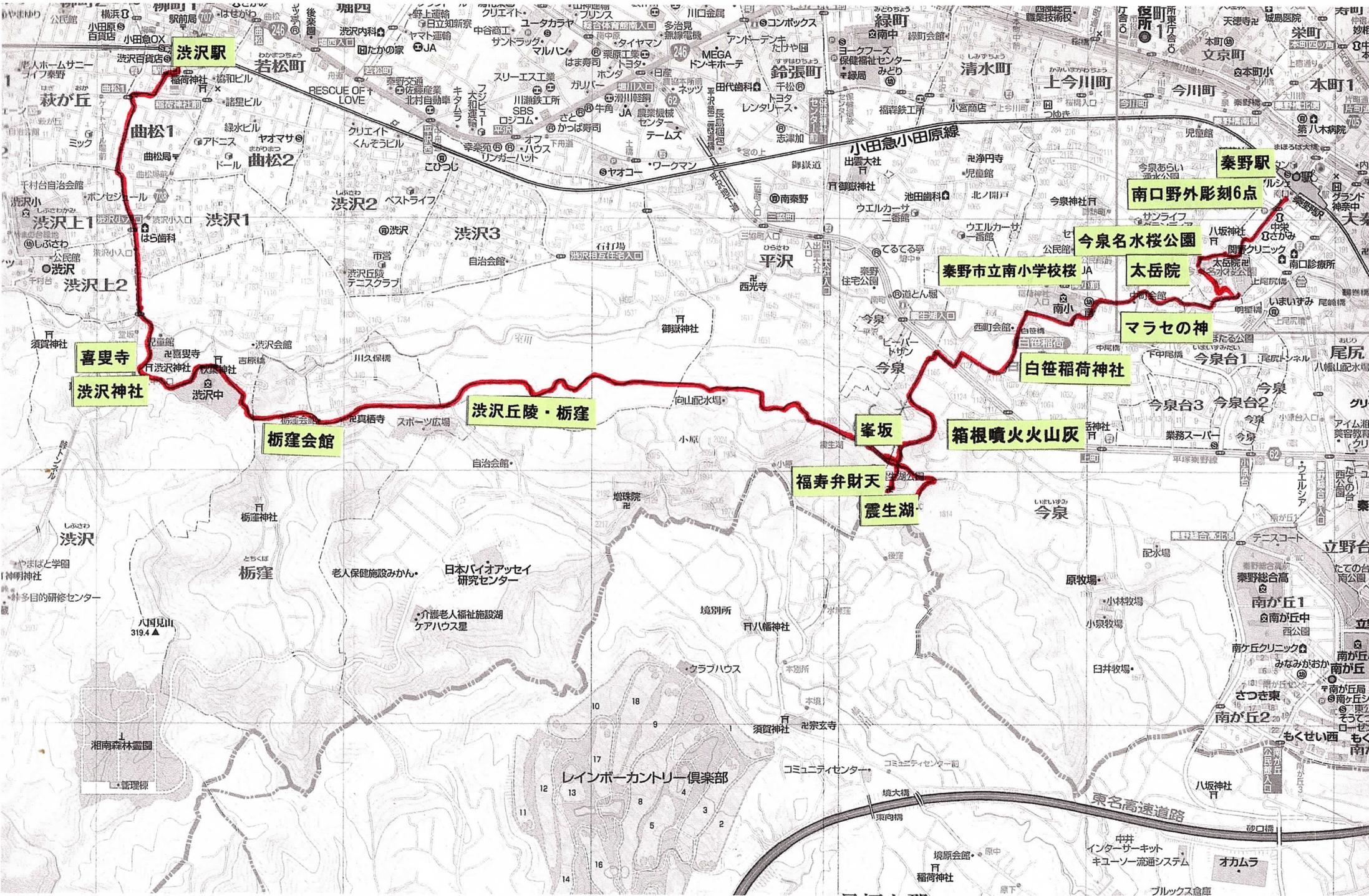


6/15(木)より受付開始

【お申込み・お問い合わせ】

北公民館 ☎75-1678

# 震生湖（国登録記念物）と渋沢丘陵散策



喜叟寺

渋沢神社

析産会館

渋沢丘陵・析産

峯坂

福寿弁財天

震生湖

箱根噴火火山灰

白笹稻荷神社

マラセの神

太岳院

今泉名水桜公園

南口野外彫刻6点

秦野駅

# 国登録記念物震生湖と渋沢丘陵散策

**野外彫刻**：秦野市に 64 基、文化振興課が管理 42 基、秦野駅南口には 6 基。昭和 62 年に開催の丹沢野外彫刻展以来 5 回の彫刻展入選作。

**亀王山太岳院**：曹洞宗 本尊釈迦如来、相模新西国霊場 32 番と 33 番の札所で結願寺、太岳院は鎌倉時代頃より薬師堂であったものを室町時代天文 10 年（1541）に当時の今泉村の土豪であった小林正永氏が堀山下の蔵林寺三世を招いて開山した寺。本堂は平成 19 年安藤忠雄氏による設計。

**今泉名水桜公園**：「四季を彩る桜の水辺」をテーマに平成 17 年 1 月 1 日に市制 50 周年を記念して整備された、公園の面積は 6600 m<sup>2</sup> 池面は 3000 m<sup>2</sup>、シンボルツリーは福島県三春町産の紅しだれ桜、50 本の桜が植えられ年間を通して開花時期の異なる 18 種類の桜が見られる。

**マラセの神**：嘉永 4 年（1851）に造られたが盗難、明治時代になって持ち去られないように大きな物にした、この地区に男の子が産まれる事が少なかったので男の子が授かるようマラセの神が祀られた。

**白笹稲荷神社**：祭神：宇迦御魂命・大宮売命・猿田彦命

当社は関東三大稲荷の一つとして信仰され、「お稲荷さん」と親しまれている。稲作・農業の神様、「稲が成りますように」と言う「稲成り」から「いなり」となった。

**箱根火山の噴出物**：大磯丘陵には箱根火山・富士火山からの噴出物が数百mも厚く推積したが、震生湖の地滑り土塊は殆どが風化した火山砕屑物（テラス）からなる。秦野盆地と大磯丘陵の間には東西方向の渋沢断層が走り、50～100mの撓曲崖が続いている。

**震生湖（国登録記念物）**：大正 12 年（1923）の関東大震災により渋沢丘陵の山林及び畑の一部が幅 200m～250mに渡り馬蹄形に崩壊その土砂が市木沢を堰き止め、そこに周辺より湧出する地下水が溜まってできた堰止湖で、日本で最も新しい自然湖の 1 つです。震災から 100 年経過した今でも「崩落地」「堰止地」が確認できる。周囲は 1k 水

深最大 10m、海拔：150m、

**寺田寅彦句碑**：1930 年（昭和 5）9 月 7 日と 9 月 12 日の 2 回調査に訪れその際に詠んだ俳句の一つ。

「山さけて 成しける池や水すまし」震生湖畔

**福寿弁財天**：七福神の紅一点で元はインドのヒンドゥ教の女神であるサラスヴァティ神が仏教或いは神道と混交したものとされます、元来河神であり河の流れる音からの連想で、音楽の神とされ福德神、学芸神等幅広い性格を持ちます。

**峯坂**：このあたりは当時、丸山と呼ばれ、地震の起こった 12 時頃平沢峯付近で北斜面の山道が崩壊し 2 人の少女（11 歳、13 歳）が行方不明となる惨事が伝えられた。その頃のこの付近は幅 1mで谷形の深い所で 5～6m、その天井はコナラやクヌギ、ミズキの枝葉で閉ざされ昼なお暗き道でした、村の消防団・青年団、近在の方々が数日間発掘しましたが所持品や履物など何一つ発見できず、供養塔が建立された。

**渋沢神社**：祭神：大雀命（ほおささぎのみこと）伊弉冉尊（いざなみのみこと）素戔鳴尊（すきのおのみこと）例大祭：9 月 15 日、境内社：金比羅社、建保 6 年（1218）11 月喜叟寺開基霊夢により鎌倉鶴岡の若宮を勧請し往時は若宮八幡宮と称し村の鎮守さまでした、明治 6 年渋沢神社と改称、古棟札に造宮祈願文と元亀四癸酉年（1573）を蔵す  
**廣澤山喜叟寺**：宗派：曹洞宗 本尊：室町中期の寄木造 釈迦如来像 源実朝に仕えた僧が庵を結ぶ、徳が高く村人達は貴僧寺と呼び、その後、天正期（1573～1592）に西田原の香雲寺 6 世が再興し喜叟寺と改名、隣の渋沢神社も貴僧が鎌倉の八幡宮を勧請されお迎えし、若宮八幡宮と明治 6 年まで呼んでいた。